

福岡医発第 613 号 (地)
令和 5 年 5 月 29 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 蓮澤 浩明
(公印省略)

ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について

今般、標記の件について、別添のとおり厚生労働省より福岡県保健医療介護部を通じて周知依頼がありました。

本件は、マダニの多くは、春から秋にかけて活動が活発になることを踏まえ、ダニに咬まれるリスクが高まることから、同省が作成したポスター、リーフレット等の活用により、広く感染防止対策を呼びかけるものです。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただくとともに、貴会会員への周知方よろしくお願い申し上げます。

なお、同ポスター等は、以下の同省ホームページに掲載されておりますことを申し添えます。

○ポスター・リーフレット掲載ホームページ

厚生労働省【ダニ媒介感染症予防啓発ポスター】

URL : <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

福岡県【ダニ媒介感染症予防啓発リーフレット】

URL : <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kansen2013021501.html>

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 橋本朋也
会長 島田昇二郎

公印省略

5 疾病第 1 6 5 3 号
令和 5 年 5 月 1 2 日

公益社団法人福岡県医師会長
公益社団法人福岡県病院協会
一般社団法人福岡県私設病院協会
公益社団法人全国自治体病院協議会福岡県支部長
一般社団法人福岡県精神科病院協会

】 殿

福岡県保健医療介護部長
(がん感染症疾病対策課感染症対策係)

ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記について、厚生労働省健康局結核感染症課から別添のとおり事務連絡がありましたのでお知らせします。

つきましては、貴会会員に対し、下記ポスター及びリーフレットを蚊媒介感染症並びにダニ媒介感染症予防啓発に活用するよう周知をお願いいたします。

なお、ポスター及びリーフレットを利用する際は、下記ホームページからダウンロードするようお願いいたします。

記

○ポスター・リーフレット掲載ホームページ

厚生労働省【ダニ媒介感染症予防啓発ポスター】

URL: <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

福岡県【ダニ媒介感染症予防啓発リーフレット】

URL: <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kansen2013021501.html>

－問合せ先－

福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課
感染症対策係 阿部

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園 7－7

TEL: 092-643-3597 FAX: 092-643-3331

Email: abe-i278@pref.fukuoka.lg.jp

事 務 連 絡
令和 5 年 5 月 9 日

各

都道府県
保健所設置市
特別区

 衛生主管部（局）御中

厚生労働省健康局結核感染症課

ダニ媒介感染症の予防啓発及び対策の推進について（協力依頼）

日頃より感染症対策に御協力いただきましてありがとうございます。

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）や日本紅斑熱を含むダニ媒介感染症については、発生する地域の広がりとともに継続して患者の発生が報告されています。

マダニは、シカやイノシシなどの野生動物が生息する環境のほか、民家の裏山や裏庭、畑などにも生息していることから、特に屋外でのキャンプやハイキング、農作業や草刈り、山中での作業（山菜採りや狩猟等）は、ダニに咬まれるリスクが高まります。

厚生労働省では、ダニ媒介感染症の予防対策について、ポスター等を用いた周知・啓発を実施しているところです。

マダニの多くは春から秋にかけて活動が活発になることを踏まえ、保健所、管内市町村、関係機関、関係団体等に対する、ダニ媒介感染症の予防対策についての周知・啓発に、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、以下の厚生労働省のウェブサイトからポスターをダウンロードして、ご活用いただくことも可能です。

【ダニ媒介感染症予防啓発ポスター】

掲載 URL：<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

【照会先】

健康局結核感染症課

動物由来感染症指導係

電話：03-5253-1111（内 2387/2376）

今年も あなたの血を狙って 奴らがやってくる！



～ダニ・蚊の襲来に備えよ～

草むらに
入る時は
注意しよう！

肌の露出を
減らそう！

虫よけ剤を
使おう！

ペットの
虫よけも
万全に！

蚊やダニは病気を持っているものもあり、咬まれないことが大切です。

【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅斑熱・つつが虫病・ライム病 など

【蚊が媒介する感染症】日本脳炎・デング熱・チクングニア熱・ジカウイルス感染症 など



蚊・ダニに咬まれないポイント

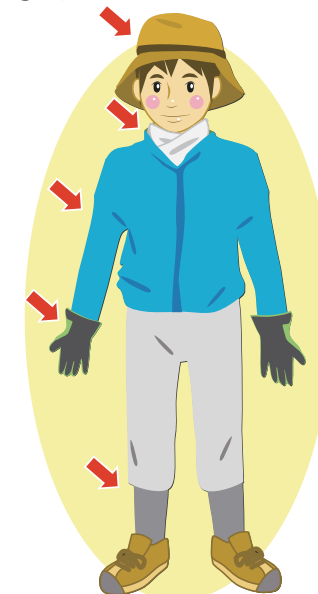


蚊・ダニ共通対策

- 肌の露出を少なくする
 - 長袖・長ズボンを着用する
 - 足を完全に覆う靴を履く(サンダルなどは避ける)
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

ダニ対策

- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
 - シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- ※野外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏などに注意しましょう。



蚊媒介感染症
厚生労働省



ダニ媒介感染症
厚生労働省



※各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考してください。

山ありダニあり

ダニが媒介する感染症から身を守るために

畑での農作業

茂みでの草刈り

山の中で山菜採りや

狩猟をするとき

ダニがあなたを狙っている。

(出演)
ダニ 田畑 草刈 肌着
羽衣 山狩 菜人



フルカラー
総天然色

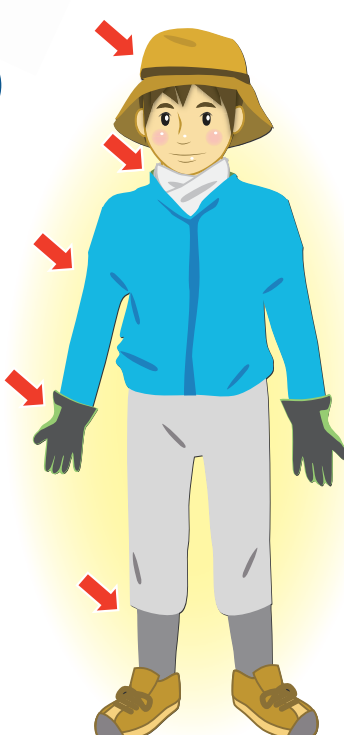
KORO FILM

【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅斑熱・つつが虫病・ライム病 など

ダニに咬まれないポイント

- 肌の露出を少なくする
 - 長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する
 - シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
 - 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
 - 足を完全に覆う靴を履く(サンダルなどは避ける)
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

※野外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部(髪の毛の中)などに注意しましょう。

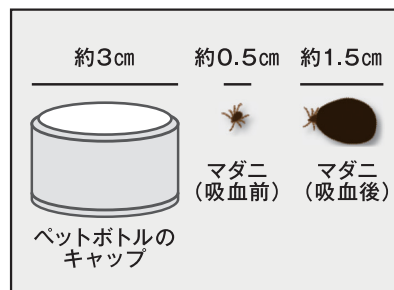


ダニに咬まれたときの対処法

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置(マダニの抜去、洗浄など)をしてもらいましょう。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けてください。

受診時に医師に伝えること

- ① 野外活動の日付
- ② 場所
- ③ 発症前の行動



ダニ媒介感染症 厚生労働省

※各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください。



「ダニ」にご注意ください



山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう



春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。

野山に生息するダニに咬まれることで

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニに咬まれないためのポイント！

●肌の露出を少なくする

⇒帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等

●長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する

⇒シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中

●足を完全に覆う靴を履く

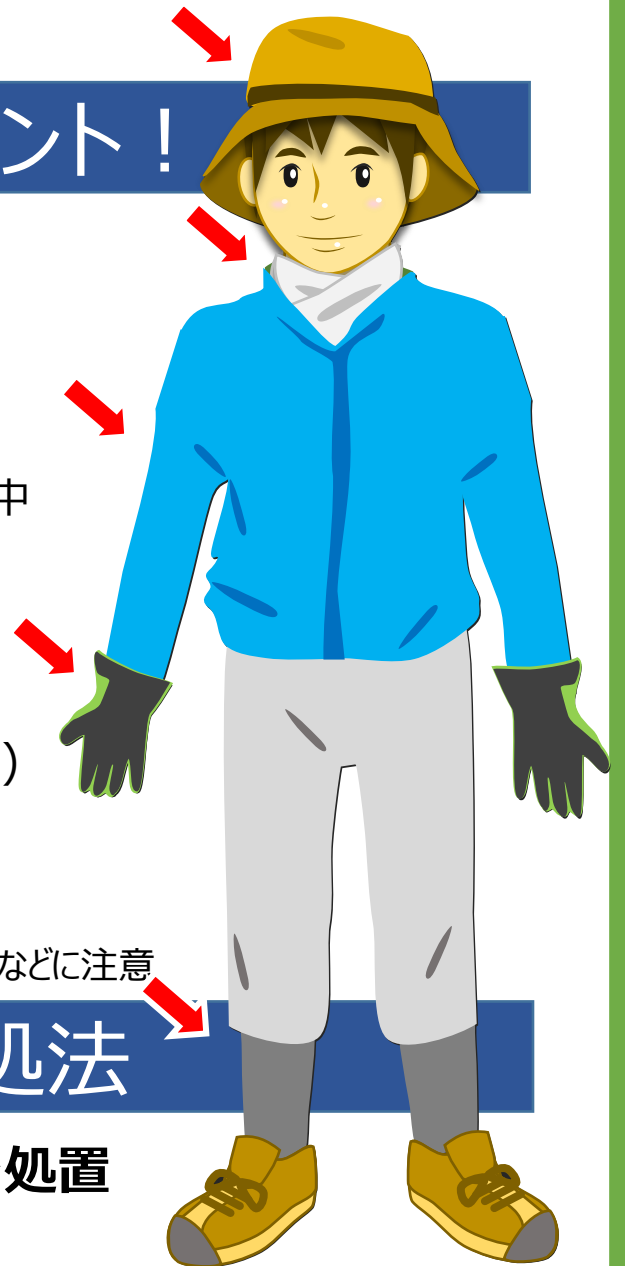
⇒ サンドル等は避ける

●明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすくするため）

* 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう

* 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう

特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意



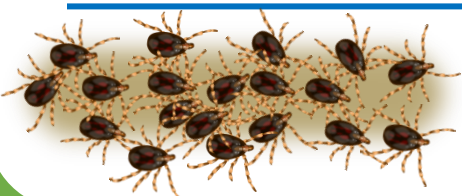
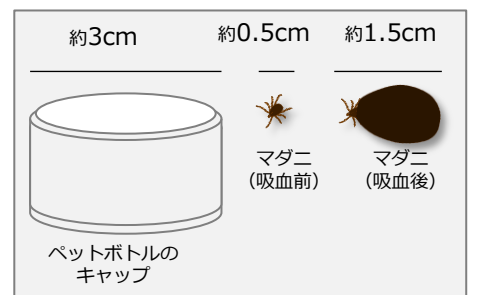
ダニに咬まれたときの対処法

●無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。

●マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

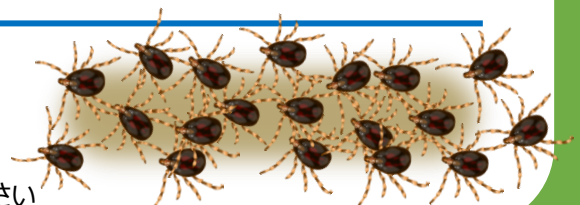
【受診時に医師に伝えること】

①野外活動の日付け、②場所、③発症前の行動



ダニ媒介感染症（厚生労働省）

各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください



山や草むらで活動するときは、

マダニに注意しましょう

春から秋にかけての季節は、キャンプ、ハイキング、農作業など、

山や草むらで活動する機会が多くなりますが、マダニの活動も活発になります。

野山に生息するマダニに咬まれると、

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、ライム病

などの感染症にかかることがあります。

予防のポイント

下の4つのことを参考にして、ダニに咬まれないようにしましょう。

(これらの予防方法はツツガムシに咬まれて感染するつつが虫病の予防にも有効です。)

1. マダニの生息場所



マダニは、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。

マダニは、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。



2. マダニから身を守る服装

野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

首にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。



半スボンやサンダル履きは不適当です！

ハイキングなどで山林に入る場合は、**スボンの裾**に靴下を被せましょう。

シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。

シャツの裾はスボンの中に入れてみましょう。

農作業や草刈などでは**スボンの裾**は長靴の中に入れてみましょう。

3. マダニから身を守る方法

上着や作業着は、家の中に持ち込まないようにしましょう。



屋外活動後は、シャワーや入浴で、ダニが付いていないかチェックしましょう。



ガムテープを使って服に付いたダニを取り除く方法も効果的です。

ダニ類の多くは、長時間（10日間以上のこともある）吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り化膿することがあるので、皮膚科等の医療機関で、適切な処置（マダニの除去や消毒など）を受けて下さい。

マダニに咬まれたら、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

4. 忌避剤の効果

マダニに対する忌避剤（虫よけ剤）が、2013年から新たに認可されました。現在は、ディート、イカリジンの2種類の有効成分の忌避剤が市販されています。

忌避剤の使用でマダニの付着数は減少しますが、マダニの付着を完全に防ぐわけではありません。忌避剤を過信せず、様々な防護手段と組み合わせて対策を取ってください。

